

文部科学大臣 高木義明様

福島の子どもたちが安全で安心して暮らせるようお願いいたします

いつも子どもたちのためにご尽力いただき、ありがとうございます。

地震、津波、福島第一原発事故が起きて以来、全国のお母さんたちは福島の人たちのことをとても心配し、胸を痛めています。特に子どもたちのことが心配です。これ以上、子どもたちが放射性物質に怯える社会を作ってはけません。私たち大人は、未来を担う子どもたちのために、安心して暮らせる日本を残していく責務があります。

福島の子どもたちがより安全で安心して暮らせるよう以下七点を関係各所に働きかけていただきますようお願いいたします。

1. 高木義明文部科学大臣と福島のお母さん、お父さんとの面談の実施(5月23日に福島のお母さん、お父さん、全国からの支援者が文部科学省に行きましたが、高木義明文部科学大臣にはお会いできませんでした)。福島のお母さんとお父さんに会って要望を聞いて下さるようお願いいたします
2. 福島の子どもたちの学校等の校舎、校庭等の年間の放射線量 20mSv 即時撤回
3. 学校等の校舎、校庭以外の放射線量のモニタリングの実施と子どもたちが安全に生活できる環境作り
4. 必要に応じ国と電力会社の費用負担での集団学童疎開・避難の実施、また自主的に避難と疎開を行う場合は、国と電力会社による経済支援の実施
5. 放射線物質を除去する特別仕様のフィルター付きのエアコンの校舎への設置
6. 給食の食材の産地の情報公開と放射線量の計測、および給食とお弁当の選択制の実施
7. 全国の保育所、幼稚園、学校での放射線量のモニタリングの実施と公開

日本には 54 基の原発があり、地震が起きれば福島第一原発のような事故は全国どこでも起きる可能性があります。福島第一原発事故以降、全国で反・脱原発のパレードやイベントが実施され、関連するホームページが立ち上げられています。そうしたことを通し、同じ想いを持つお母さんたちが知り合い、「福島そして日本全国の子どもたちを守ろう」というネットワークが自然に生まれました。

私たちは、今後とも文部科学省が出して下さる正しい情報を学び、福島、そして日本全国の子どもたちの健康と環境について考えていきたいと思えます。私たちの「子どもを守りたい」という願いをお聞き入れ下さるようお願い申し上げます。

いのちを守るお母さん全国ネットワーク

東京支部：横関彩子

関西支部：増山麗奈

6.3 アクション事務局：戸倉由紀枝

Tel: 090-4401-8774

E-mail: inochimother@gmail.com

<http://ameblo.jp/inochimother/>